

平成30年度第三期特別支援教育専門研修において 「病弱教育専修プログラム」を受講する方へ

病弱教育専修プログラムの受講に際し、以下のものを事前にご用意下さい。これらは、各講義等における協議や情報共有のための資料とします。

	講義題目等	用意するもの	備考
1	病弱教育における授業論	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」の書式* ・学習指導案の書式（可能であれば、個人情報に留意した上で実際に使用した学習指導案）* 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートパソコンは、左記の3以外の講義以外でも使用することがありますので、準備をお願いします。準備が難しい場合は、下記連絡先に事前にお知らせ願います。台数に限りがありますがお貸しできます。 ・左記の*の資料はまとめてCD-R等に保存して開講日に提出してください。資料はできるだけWord・Excel等の形式及びPDF形式の二種類を持参して下さい。 ・学校要覧は開講日に1部提出し、残りは1回目の研究協議に持参してください。 ・『病気の子どもの教育支援ガイド（ジアース教育新社）』及び『ぱれっと（PALETTE）～子どもが主体となる教育計画と実践を目指して～（ジアース教育新社）』は、お持ちの方は、ご持参ください。お持ちでない方には、お貸しできます。
2	特別支援学校（病弱）におけるセンター的機能の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・自校のセンター的機能に関するレポート【様式2で作成】（A4で1ページ）* ・自校のセンター的機能に関するパンフレット等*（紙媒体での提出も可とし、その場合、開講日に1部提出。無い場合は提出不要） 	
3	病弱教育の今日的課題②ー小・中学校等における病弱教育の推進ー	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度あるいは平成29年度の校内研修（地域への公開講座等も含む）の年間計画* ・ノートパソコン（パワーポイントを使用。互換性のある他のソフトでも可） ・『病気の子どもの教育支援ガイド（ジアース教育新社）』を使用予定 	
4	重い障害がある子供の Person-Centered Planning に基づく教育実践	<ul style="list-style-type: none"> ・図書『ぱれっと（PALETTE）～子どもが主体となる教育計画と実践を目指して～（ジアース教育新社）』を使用予定。 	
5	研究協議	<ul style="list-style-type: none"> ・研究協議に関する資料【様式1で作成】（A4で1ページ）* ・学校要覧：10部（紙媒体） 	

（本件に関する連絡先）

インクルーシブ教育システム推進センター

土屋忠之

E-mail: tsuchiya@nise.go.jp

電話 : 046-839-6896(直通)

**【病弱教育専修プログラム】
研究協議に関する資料**

所属（ ） 受講番号（ ） 氏名（ ）

研究協議において取り上げてみたい内容について、以下の<キーワードの例>を参考にして記入して下さい。キーワードは3つ程度記入してください。

<キーワードの例>

- 教科等の指導 ○自立活動の指導 ○ICTの活用 ○ベッドサイドでの授業・支援
- 進路指導・キャリア教育 ○訪問教育 ○高校生への支援・学習指導 ○センター的役割
- 小・中・高等学校との連携 ○保護者・PTAとの連携 ○医療・福祉との連携
- 精神疾患・心身症等のある児童生徒への指導 ○慢性疾患等のある児童生徒への指導
- 筋ジストロフィー等のある児童生徒への指導 ○脳性まひ等のある児童生徒への指導
- 重度・重複障害のある児童生徒への指導 ○小児がんや脳腫瘍等ある児童生徒への指導
- その他（ ）

1. キーワード

- ()
- ()
- ()

2. 上記のキーワードを記入した理由

(様式2)

【**病弱教育専修プログラム**】

「**特別支援学校（病弱）におけるセンター的機能の実際**」協議資料

所属（ ） 受講番号（ ） 氏名（ ）

1. 自校のセンター的機能について、特色ある取組を記入してください。

2. 自校のセンター的機能を充実させる上での課題について具体的に記入してください。